

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育指導課子ども安全支援室長	村本 愛治	電話番号	0852-22-6842
----------	----------------	-------	------	--------------

事務事業の名称	悩みの相談事業			
目的	(1) 対象	児童生徒、保護者及び教員		
	(2) 意図	悩み、心配事等の心の問題の負担を軽減する。		
事業概要	いじめや不登校などの問題に対して、未然防止や早期発見・対応のため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子どもと親の相談員の配置をはじめとする教育相談体制の充実を図る。			

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		15.0	14.2	13.4	12.7	%
		取組目標値						
	式・定義	実績値	21.4	23.9				
	達成率	-	159.4	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
	達成率	-	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	168,956	195,370
うち一般財源 (千円)	121,113	138,449

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

○平成28年度のスクールカウンセラーの相談件数は9,696件(H27:9,764件)、教員へのコンサルテーションなど相談以外の活動件数は10,076件(H27:9,850件)。保護者からの相談件数が増加傾向にある。
 ○スクールソーシャルワーカーの相談件数は735件(H27:691件)、総時間数は9,811時間(H27:8,840時間)。
 ○子どもと親の相談員は昨年度同様25校に配置。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

スクールソーシャルワーカーがかかわった継続支援対象児童生徒における相談案件734件のうち解決または好転した件数が271件あった。
 スクールカウンセラーの配置時間を、学校規模及び活用状況に応じて100時間を設定し、より学校の状況に応じた派遣を行った。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」
 平成29年度、スクールカウンセラーの未配置校は、小学校203校中86校、中学校98校中2校(分校)、特別支援学校12校中6校である。困っている状況としては、未配置の小規模校への配置拡充計画を行ううえで、派遣できるカウンセラーの人材不足がある。特に、県西部、東部の中山間地域、隠岐地域の学校に勤務可能なカウンセラーが現状では限られている。
 また、配置時間の増加希望もあるが、現在派遣しているカウンセラーも複数の学校を掛け持ちしたり、他の勤務を行っていたりと、大幅な時間増が見込めない現状がある。

②困っている状況が発生している「原因」
 全体的にスクールカウンセラーの任用者は増えている(H29年度73名)が、松江市、出雲市内在住(37名)の方が多く、派遣できる地域に偏りがある(東部の中山間地域、西部、隠岐地区は任用者が少ない)。

③原因を解消するための「課題」
 有資格者等の掘り起しに向けて、関係機関との連携強化が課題であるため、近隣の大学へのチラシ配布、職能団体との連携を行い、人材発掘を行う。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

関係機関との連携をこれまで以上に強化し、臨床心理士、社会福祉士等の有資格者の掘り起しを行っていく必要がある。
 スクールカウンセラーは、現在73名任用であるが、全校配置にはさらに30名程度の任用が必要である。
 スクールソーシャルワーカーは、現在37名であるが、全中学校区配置にはさらに59名程度の任用が必要である。